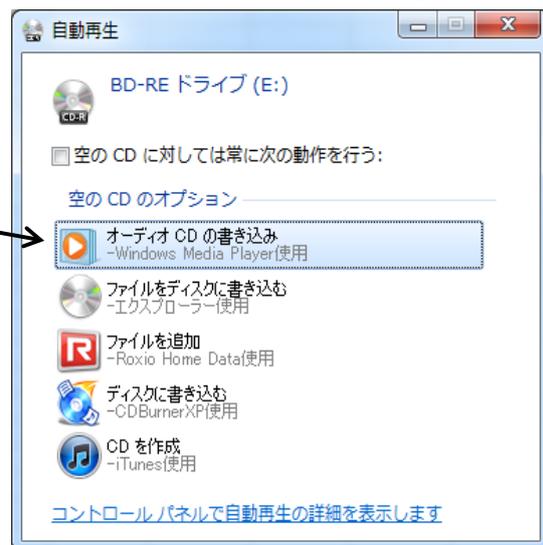


自分だけの音楽CDを作る

Windowsパソコンにインストールされているソフト「Windows Media Player」を使用して、気に入った音楽ファイルだけをまとめて自分用の音楽CDを作ることができます。

1. パソコンのDVD/CDドライブに未使用のCD-R(または CD-RW)をセットします。
2. 右図の「自動再生」画面が表示されるので、「オーディオCDの書き込み」をクリック。
3. 「Windows Media Player」が起動します。次の手順で音楽CDの作成を行います。



- ①音楽ファイルの選択: 下図のように、Windows Media Player画面左側の「音楽」(又は「音楽」→「アルバム」)をクリックし、パソコンに取り込んである音楽ファイルの中から気に入った音楽を選択する。

- ②書き込みリストの作成: ①で選択した音楽ファイルを「書き込みリスト」にドラッグします。



- ③書き込める量の確認: 「書き込みリスト」の上側に残りの量が表示されるので、再生時間80分の範囲で音楽ファイルをドラッグし、書き込みリストに追加することができます。

(注1) 上図ではCD残量が「67.09(全体80分)」と表示されています。音楽CDの再生可能時間80分に対し、現時点の書き込みリストでは再生時間がまだ13分(=80-67)と短いことを意味しています。別な音楽ファイルを書き込みリストに追加してOKです。

(注2) CD残量が「分」ではなく、「***MB(全体702MB)」と「MB」で表示される場合は右上の「書き込みオプション」(青枠部)をクリックして、「オーディオCD」にチェックを入れます。

- ④CDへの書き込み: 「書き込み」タブのすぐ下にある「書き込みの開始」をクリックします。

CDへの書き込みが始まり、しばらく書き込みが続いた後、CD作成が完了します。

4. 作成した音楽CDの確認: 作成した音楽CDを取り外し、再度パソコンにセットします。自動的にWindows Media Playerが再生モードで起動し、音楽の再生が始まります。